

取扱説明書

液晶カラーテレビ用 壁掛けスリム金具

エイエヌ ダブルエル
形名 **AN-40WL2**

適応機種

2011年10月現在

LC-40F5 / LC-32F5
LC-40F3 / LC-32F3

〔設置業者様へ〕

本製品 (AN-40WL2) は、上記液晶カラーテレビ AQUOS 専用です。

※ 最新の適応機種はカタログ等でご確認ください。

もくじ

安全に正しくお使いいただくために.....	2
お客様へのお願い.....	2
同梱部品.....	3
壁掛けスリム金具を壁に取り付ける.....	3
壁掛けスリム金具を取り付ける前に.....	3
表示ラベルを貼る.....	6
ディスプレイ部を壁からはずすときは.....	6
外形寸法図 (ディスプレイ部).....	7
使い方や修理のご相談など.....	裏表紙

お買い上げありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために」(2ページ)を必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保存してください。

必ずお守りください

- 液晶カラーテレビの設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損害については、当社は責任を負いません。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。



記号は、気をつける必要があることを表しています。

図記号の意味



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

- ❗ 説明書に従って施工する
- ❗ ● 取り付け方法、取り付け方向は、この説明書及び壁掛けガイドシートに従って施工してください。落下によるケガや破損の原因となります。
- ❗ ● 取り付け工事は、確実な作業が必要です。また、壁の素材によっては擦れなどで壁が傷つく場合がありますので、施工は必ず販売店や工事店にご依頼ください。
- ⚠ ● 取り付けの際は、金具などに指などを挟まないようにご注意ください。
- ❗ ● 取り付ける際は、壁面に十分な強度があることを確認してください。(壁面に補強材の入っている部分に取り付けてください。)
- ⊘ ● 取り付け金具には他の荷重を掛けないでください。落下によるケガや破損の原因となります。
- ⊘ ● 取り付け部品は必ず指定の部品を使用し、改造・変更は行わないでください。落下によるケガや破損の原因となります。
- ⊘ 壁掛けした液晶テレビの上に物を置いたり、液晶テレビにぶら下がったりしない
 - 落下によるケガや破損の原因となります。

注意

- ❗ 設置するときは湿気やほこりの少ない場所、油煙や湯気のあたらない場所に設置する
- ⊘ ● 液晶テレビは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気のあたる場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ❗ 設置するときは風通しの良い場所に設置する
- ⊘ ● 液晶テレビの通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり火災・感電の原因となることがあります。
- ⊘ 設置の際に取り外したスタンドは、本機以外に使用しない
 - ケガや破損の原因となります。

お客様へのお願い

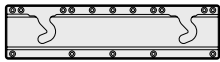
- 壁掛けスリム金具や壁掛け用ホルダーを使用していたお客様が、壁掛けをやめて再度スタンドを取り付ける場合は、ディスプレイ部の天地方向を間違えないようご注意ください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- スタンド取り付けの順番は、まずスタンド金具 (F3 シリーズ) やスタンド支柱 (F5 シリーズ) をディスプレイ部に取り付けた後、スタンド台を取り付けてください。スタンド金具やスタンド支柱とスタンド台を組み立てた状態でディスプレイ部に取り付けようとすると、スタンドが不安定になり危険です。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 壁掛けスリム金具や壁掛け用ホルダーを壁面に設置後に再び撤去すると、壁面に取り付けネジやヒートン類の穴が残りますのでご了承ください。ディスプレイ部を長期間壁掛けでご使用になると、ディスプレイ部の熱や空気の流れによって、壁面が変色することがありますのでご了承ください。

◇ 免責事項 ◇

- お客様が、この壁掛け金具の取り付け不備、取扱い不備、または当社製の専用部品以外をご使用になった場合による事故、損傷については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

同梱部品

壁掛けスリム金具（上用）×1



壁掛け用ホルダー（下用）×1



壁掛け用クッション×2



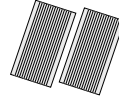
壁掛け用ネジ（上用）
M6（長さ14mm）×2



壁掛け用ネジ（下用）
M4（長さ10mm）×1



壁掛け用面ファスナー×2（1組）



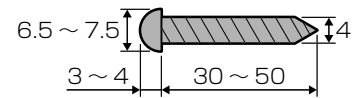
表示ラベル（側面操作ボタン用、ヘッドホン端子用）×各2色
（ディスプレイ部の見やすいところに貼り付けます。⇒6ページ）

壁掛けガイドシート×1

ご用意いただくもの(市販品)

- 壁掛けスリム金具／壁掛け用ホルダー取付用ネジ 10～21本
壁の材質や強度に応じて、使用するネジの種類、本数、および長さが異なります。
ご用意いただく際は、販売店や工事店にご相談ください。
- 穴あき硬貨（5円玉等）をおもりにつけた糸、セロハンテープ、付箋紙
- 工具（はさみ、プラスドライバー（JIS 2番）、キリ）
- ヒートン（ひもが外れない形状のもの）、落下時衝撃緩和対策用ひも

推奨するネジの寸法 単位：mm



設置位置について

- 液晶テレビには視野角（映像が正しく見える範囲）があります。ほぼ正面がもっとも正しく見える位置です。よくご覧になる姿勢や視線、視野範囲に合わせて設置位置を決めてください。
- 設置の際にはディスプレイ部の AC アダプターが床から離れたり、他のケーブルに引っ掛からないように設置してください。
- 設置の高さによってはお子様がディスプレイ部に頭などをぶつける可能性がありますので、設置時にご配慮ください。

設置業者様へ

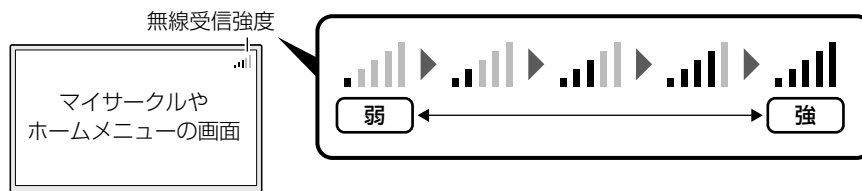
- 安全のために2人以上で作業をしてください。
- 安全のために手袋を着用してください。

壁掛けスリム金具を壁に取り付ける

壁掛けスリム金具を取り付ける前に



- ディスプレイ部とチューナー部の間は、無線で接続されています。
壁掛けする前には、設置する場所の無線受信強度を事前に必ず確認し、状態の良いところを選んでください。



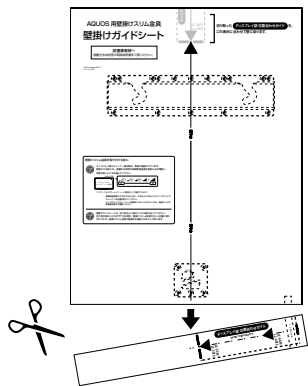
マイサークルやホームメニューの画面右上で確認できます。

- 無線受信強度が2本以下のときは、3本以上になるようにディスプレイやチューナーの位置を変えてください。
- ディスプレイとチューナーの接続がうまくいかないときは、液晶テレビの取扱説明書をご確認ください。

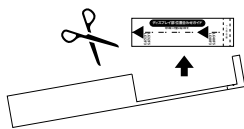
壁掛けガイドシートを貼る

1 壁掛けガイドシートの準備をする

- 「切り取り線①」に沿って、はさみで切り取ります。

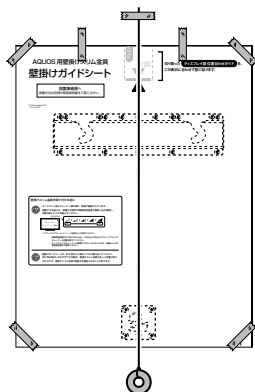


- 「切り取り線②」に沿って、「ディスプレイ部 位置合わせガイド」を切り取ります。



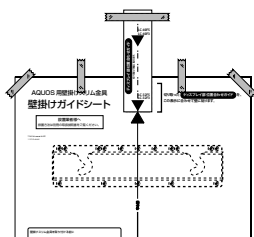
2 壁掛けしたい場所に、壁掛けガイドシートを貼り付ける

- 穴あき硬貨をつけた糸を垂らして、セロハンテープで壁に貼り付けます。
- 垂らした糸に壁掛けガイドシートの中心線に合わせて、壁掛けガイドシートを壁に貼り付けます。
- 垂らした糸を取り外します。



3 手順1で切り取った「ディスプレイ部 位置合わせガイド」を、壁掛けガイドシート上部のイラストに合わせて、壁に貼り付ける

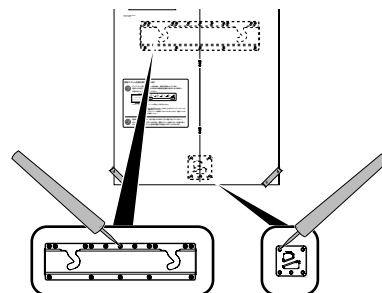
- 壁掛けガイドシート上部に薄く印刷されているイラストに「ディスプレイ部 位置合わせガイド」を重ねて、テープで壁に貼り付けます。



壁掛けスリム金具を取り付ける

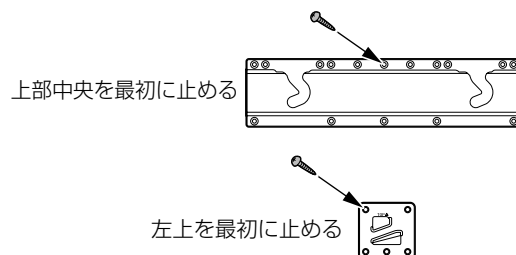
4 壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーイラストのネジ穴の中心点にキリを刺して、目印を付ける

- 目印を付けたら、壁掛けガイドシートをはがします。（手順3で貼り付けた「ディスプレイ部 位置合わせガイド」は残します。）



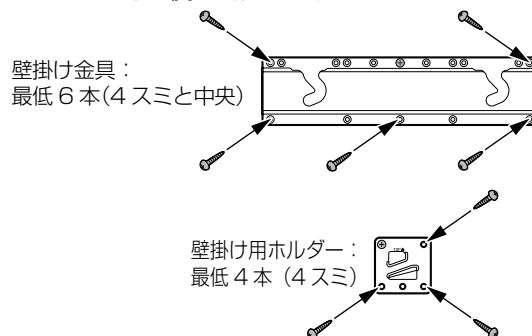
5 壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーの仮止めをする

- キリを刺した目印と壁掛けスリム金具のネジ穴を合わせて、壁掛け金具取付用ネジ（市販品）をそれぞれ1本使って、仮止めします。
- 左右に傾いていないかを確認します。



6 壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーを取り付ける

- 壁掛けスリム金具／壁掛け用ホルダー取付用ネジ（市販品）を使って、しっかりと取り付けます。
 - 金具：最低6本（4スミと中央）
 - ホルダー：最低4本（4スミ）
- 壁の材質などにより必要な位置に必要な数のネジをお使いください。



- ◆ 重要 ◆
- 壁掛けスリム金具／壁掛け用ホルダー取付用ネジは、しっかりと締めてください。ディスプレイ部、壁掛けスリム金具、壁掛け用ホルダーが落下し、けがをする恐れがあります。

スタンドを外す (スタンドを取り付けている場合)

JIS 2 番のプラスドライバー (市販品) をお使いください。

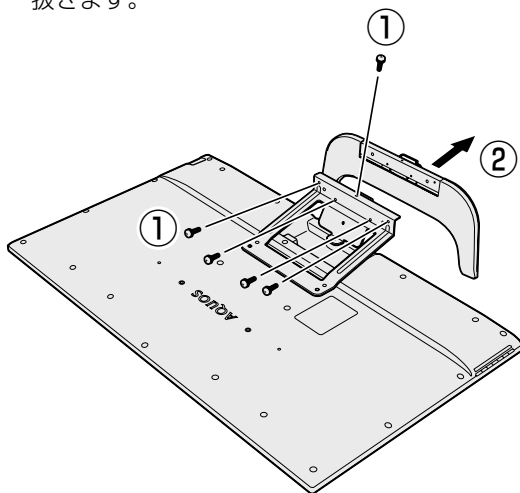
7 ディスプレイ部を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上にディスプレイ部を寝かせます。
- 電源プラグをコンセントから抜き、ディスプレイ部のケーブルをすべて外します。

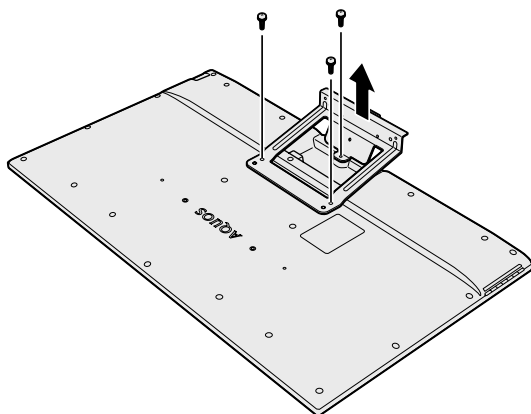
8 スタンド台を取り外す

- スタンド台を固定しているネジを取り外し、スタンド台を取り外します。
- イラストは、「F3 シリーズ」を例に説明しています。「F5 シリーズ」のスタンド台、スタンド支柱の取り外しかたは、「F5 シリーズ」の「壁掛けガイドシート」をご覧ください。

- ① スタンド台を固定しているネジを取り外します。
- ② スタンド金具仮固定ピンから、スタンド台を引き抜きます。



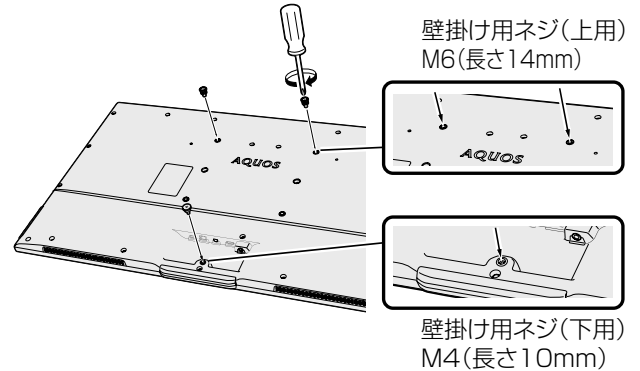
9 スタンド金具取り付けネジを外して、スタンド金具を取り外す



壁掛け用のネジを取り付ける

10 壁掛け用のネジを3本取り付ける

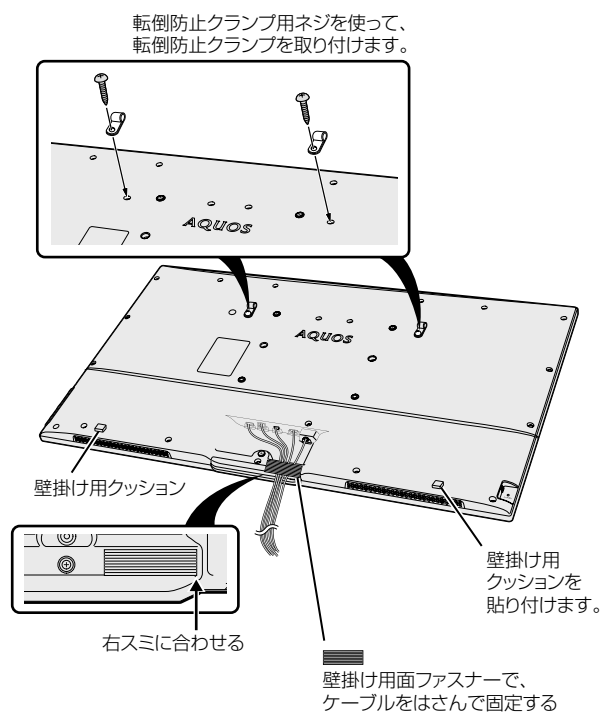
- ネジが外れないようにプラスドライバーでしっかりと締めてください。



- ◆ **重要** ◆
- ディスプレイ部に取り付ける壁掛け用ネジは、しっかりと締めてください。ディスプレイ部が落下し、けがをする恐れがあります。

11 必要なケーブルを接続して壁掛け用面ファスナーで固定し、壁掛け用クッション、転倒防止クランプをディスプレイ部に取り付ける

- 壁に掛ける前に、ケーブルは確実に接続してください。
- 転倒防止クランプにはひもを通しておきます。



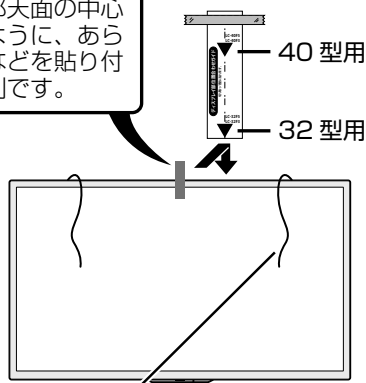
ディスプレイ部を壁に掛ける

- ケーブル類は、壁に掛けてからは接続できません。壁に掛ける前に、ケーブル類の接続を済ませてください。

12 手順3で貼り付けた「ディスプレイ部位置合わせガイド」の「▼」印とディスプレイ部天面の中心位置を合わせ、ディスプレイ部を壁に掛ける

- ディスプレイ部を壁に軽く押し付けながら、ゆっくりと下ろします。壁掛け用ネジが壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーの溝にしっかりとハマっていることも確認しながら、ディスプレイ部を壁に掛けます。
- 「▼」印の位置は、40型と32型とで異なります。「ディスプレイ部位置合わせガイド」に記載されている形名を確認し、ディスプレイ部を壁に掛けてください。

ディスプレイ部天面の中心位置がわかるように、あらかじめ付箋紙などを貼り付けておくと便利です。

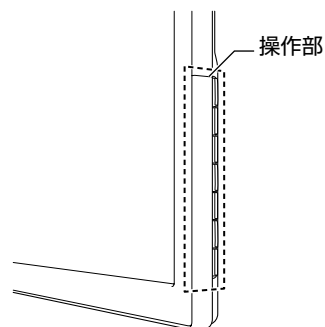


転倒防止クランプに通したひもは、画面側に垂らしておきます。

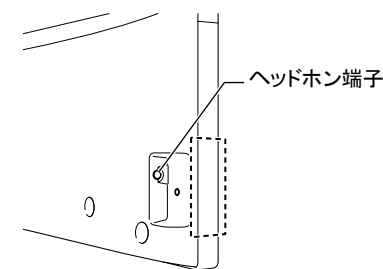
表示ラベルを貼る

- 壁掛けスリム金具にディスプレイ部を設置した際、付属の表示ラベルを見やすいところに貼り付けてお使いください。
- 付属の表示ラベルは黒文字と白文字の2種類です。キャビネットの色に合わせて貼り付けてください。

ディスプレイ部右側面

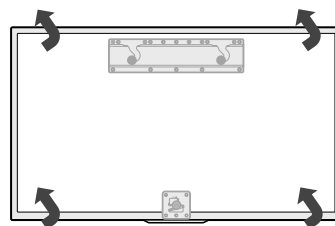


ディスプレイ部左側面



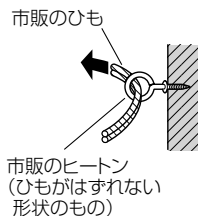
ディスプレイ部を壁から外すときは

- 壁掛けスリム金具の溝にそって、ディスプレイ部を斜め右上に動かして外します。



13 ヒートンを使って、落下時の衝撃緩和対策を行う

- 壁に市販のヒートン（高さ9mm以下で、ひもが外れない形状のもの）を取り付けます。
- 手順11でクランプに通したひもを、壁に取り付けたヒートン孔に通して、ディスプレイ部が落下しないように結びます。



◆ 重要 ◆

- ディスプレイ部を壁に掛けるときはケーブルに引っかからないようにしてください。
- ディスプレイ部は壁掛け用ネジが壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーの溝にしっかりとハマるように設置してください。
- 壁に掛けた状態でディスプレイ部のUSB端子をお使いになるときは、市販のUSB延長ケーブルをお使いください。

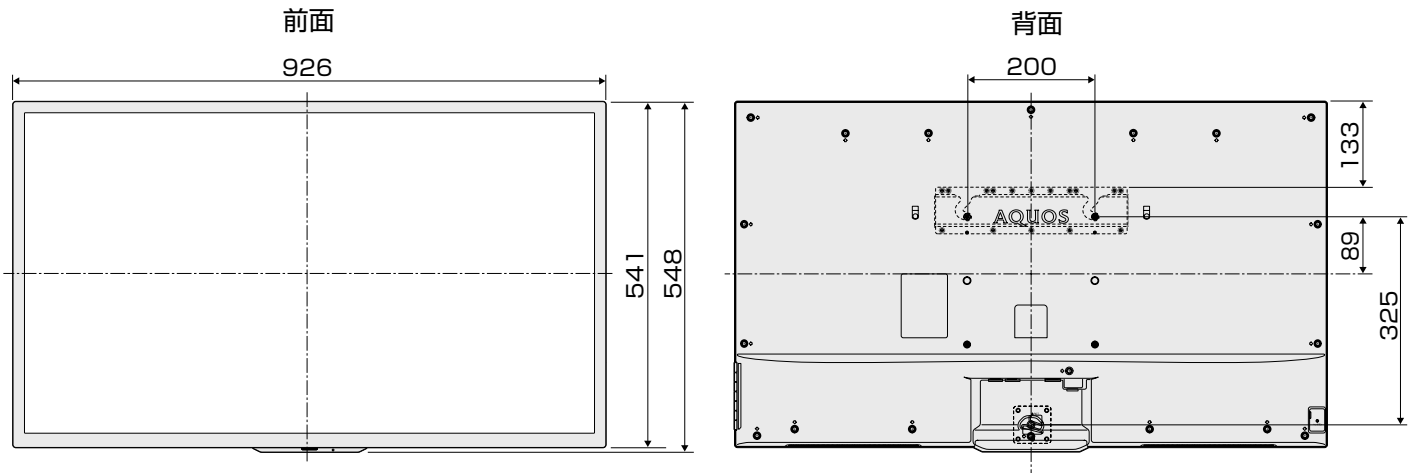
◆ 重要 ◆

- 接続してあるケーブルに引っかからないようにご注意ください。

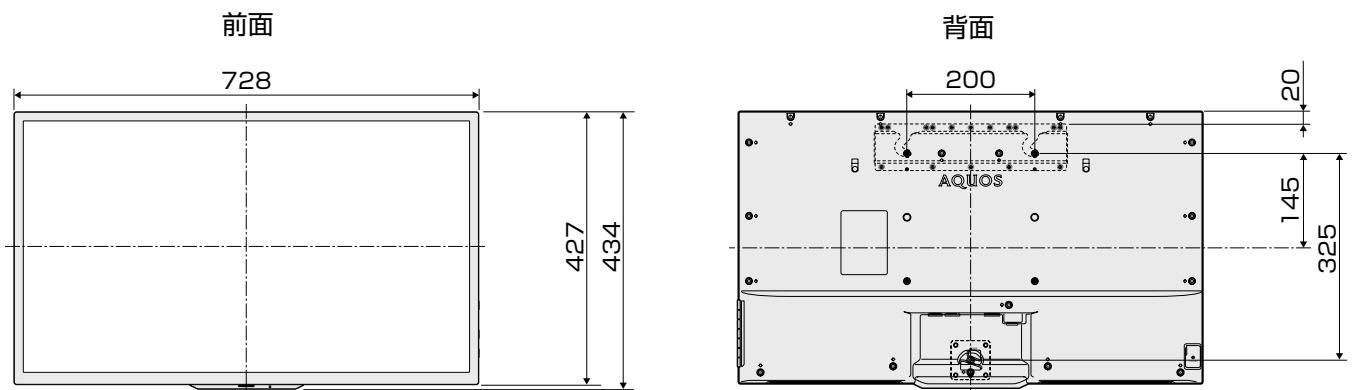
外形寸法図 (ディスプレイ部)

(単位 : mm)

LC-40F3 / LC-40F5



LC-32F3 / LC-32F5



お問い合わせ先

パソコン



メールでのお問い合わせなど 【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>

お電話



使用方法や修理のご相談など 【お客様相談センター】



0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

おかけ間違いのないようにご注意ください。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけません。

電 話	FAX
043 - 331 - 1626	043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 (年末年始を除く)

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.10)

シャープ株式会社 本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地